



新たな仲間が加わった。川口柊人選手。今月の全日本高校選手権を制した、東京・駿台学園高から日体大へ進学。学生時代をバレーの強豪で過ごしてきた。200cmの長身を生かしたブロックが売りのミドルブロッカーである。

1月中旬に合流した。練習にも参加しているが、ここまででの感想は「疲れました」。

久原 大輝

JT
サンタース広島

同学年は1人だけで、毎週の遠征に同行し、どうやら気疲れしているようだ。

先日、川口選手と食事をする機会があり、初めてゆっくりと話すことができた。吳大会でのインタビューでは、とても緊張している様子が伝わってきたが、食事中は意外と話すという印象を受けた。話の中で、自分の考えをはつきりと言語化していく、どういう選手になりたいのかが明確だった。

○ 川口選手の成長願う

今月下旬から2月にかけて、選考合宿や有望な若手のフランス遠征メンバーにも選出され、チームを離れる。同世代の選手と切磋琢磨しきっく成長してサンダーズへ帰つてくることを切に願う。

(JT広島マネジャー)

初のホームゲームに緊張した表情の川口選手